



山口 敏子 議員

## 公共施設のトイレにベビーシートの設置を

◀ 東部児童館内トイレにあるベビーシート



**問**

子育て中の保護者の社会参加のために、市内公共施設のトイレへのベビーシートの設置について聞か。 (1) 図書館のある2階のトイレには、ベッドを置いていない。小さな子どもを連れてた保護者はどうすればいいの

いのか。

現在、高速道路のサービスエリアやショッピングセンターのトイレにも、壁に取り付けるベビーシートがある。このベッドは結構簡単に収納ができ、たためばじゃまにならず、車いすの人にも自由に対応できる。ぜひこのベッドを市（公共施設）に入れてほしいと思う。小さな子どもを座らせて保護者が用を足せるもの（ベビーチエア）も参考にしてほしいがどうか。

「すべての人のためのデザイン」を意味する。バリア（障害、不便など）を取り除く「バリアフリー」の考えをさらに進め、年齢や障害の有無にかかわらず、すべての人が使いやすいよう、まちやものづくりなどを行う考え方。

今後設置していきたい

**答** 教育部長

電灯に常時点灯しても電気代があまり変わらないLEDを使い、子どもの安全のためにも図書館はいつも明るくしてほしいがどうか。

(2) 図書館（のトイレ）は、2階の奥まった所にあり、電気を消灯しているときもある。

(1) 図書館は、身体障害者用トイレにおむつ替え用のベッドは現在置いていない。（図書館の中にもベッドがなく、小さい子どもが来ることも当然あるので、今後設置していきたい。

(2) LEDの採用は経費もかかり、無駄な電気は付けてはいけないと思っているが、公共施設はある程度明るさは当然必要であると考えているので、今後の検討課題とさせてほしい。

(3) ユニバーサルデザインのロゴマーク採用は、市内公共施設全域にわたることなので、今後の検討課題としたい。